

脊髄損傷

ニュース・ホットライン

脊髄損傷治療研究に挑戦するマイアミプロジェクト

両下肢麻痺または四肢麻痺の脊髄損傷者にとっては医学的処置により脊髄の損傷を治療できず、麻痺が残る現状に大きな不満を感じている。現在、脊髄損傷治療の総合的な研究で世界最大と評価されているマイアミプロジェクトは1985年に世界的な脊髄損傷治療専門医のバース・グリーンによって設立された。その後、このプロジェクトを世界的に有名にしたのはフットボールでは伝説的なプレイヤーの息子が怪我した時であった。そして彼は、マイアミプ

ロジェクトの麻痺治療研究に寄付している。プロジェクトの研究分野は「外科的治療」、「人間とは乳類の脊髄の生理機能」、「リハビリテーションの新展望」、「実験的脊髄損傷の病理学」、「脊髄再生への移植方法と道具」、「再生制御における抑制蛋白成長の機能分析」と広くカバーしている。

(藤井直人 神奈川リハビリテーション病院
リハビリテーション工学研究室)

脊髄損傷

ニュース・ホットライン

利口なエレベータ

ヨーロッパのEUとヨーロッパ障害者フォーラムとが「全ての人のためのデザイン」手法から障害者のバリアをうち破った成果物に「バリアフリー賞」を表彰する活動を行っている。その候補の中に「エレベータ制御システム」が紹介されている。このエレベータ(Schindler社)は、行き先の階数をキーパッドに打ち込み、車いす使用者は車いすマークがついたボタンを押すと、車いすが乗り込むスペースのあるエレ

ベータを優先的に回し、ドアの空き時間を長めにとるなど対応する。このことにより、障害者が利用しない他のエレベータの移動時間は最短に維持できる。また、常時利用する障害者には「キーカード」によりキーを押さずにカードをかざすだけで上記の対処が実施される。

(藤井直人 神奈川リハビリテーション病院
リハビリテーション工学研究室)